

さいたま市消防局夏服等仕様書

第1 総則

- 1 この仕様書は、さいたま市消防局（以下「当局」という。）が購入する、男性消防吏員夏服上衣長袖、上衣半袖、ズボン及び夏帽並びに女性消防吏員夏服上衣長袖、上衣半袖及びズボン（以下「夏服等」という。）について必要な事項を定めることを目的とする。
- 2 この仕様の細部については、仕様書を参照するとともに、当局担当者と打合せの上決定する。また、この仕様書に疑義が生じたときは、当局担当者の指示を受けなければならない。
- 3 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズなどのないものを使用すること。また、織上がりは均整で、織りキズ、糸節汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- 4 縫製について、各部の縫い合わせ部はすべて優良で、縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分に配慮し、行わなければならない。
- 5 夏服等の納入に際しては、1着ごとにプレスした後、ビニール袋により包装し、外側に所属、氏名、サイズを表示すること。
- 6 検収後であっても材料、縫製、寸法等製造上の欠陥が認められたときは契約業者の責任とし、無償で修理又は交換すること。
- 7 契約業者は、製作にあたり当局から提示されるサイズ内訳、職員氏名その他の情報を、製作の目的以外に使用し又は第三者に提供してはならない。
- 8 形状、配色等が本仕様書に全部一致又は明らかに類似する夏服等を、当局の承認無しに販売することを禁止する。

第2 共通事項

1 承認済品番

夏服等に用いる表生地は、次に掲げる品番を承認済品番とする。

(1) 表生地①（上衣）

ニッケ EL116 エコシャンブレートロピカル

(2) 表生地②（上衣配色地・ズボン・夏帽）

トスコ ECO3620BL C／＃濃紺

2 同質品

承認済品番と同等の色相及び物性規格を有する生地（以下「同質品」という。）を使用する場合は、次に掲げる物性規格を満たす物であること。

(1) 表生地① 別表1-1のとおり

(2) 表生地② 別表1-2のとおり

3 提出書類

- (1) 表生地と同質品を使用する場合は、物性及び色相ともに同質であることを証するために、現物見本、公的検査機関の証明書及び紡績メーカーの原反出荷引受書を見積書の提出時に併せて当局に提出し、承認を得ること。色相については、前記を提出した上で、当局の目視による承認を得なければならない。
- (2) 落札業者は表生地についての紡績メーカーの出荷済証明書を速やかに当局に提出すること。
- (3) 契約後、本仕様書に基づき速やかに製作見本を作成し、当局の承認を受けた後に本製作にあたること。

4 品質管理

契約業者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図ること。

5 材料及び付属品

別表2のとおり

6 サイズ

- (1) 男性上衣 別表3-1のとおり。なお、着丈については、2cmピッチで調整、長袖については、M袖2、L袖2、LL袖2、3L袖2、VL袖4から袖丈を2cmピッチでマイナス調整し、M袖6、L袖6、LL袖6、3L袖6、VL袖6から袖丈を2cmピッチでプラス調整すること。
- (2) 女性上衣 別表3-2のとおり。なお、ワイシャツサイズとする。当局が提示するサイズデータを基に、首廻りは1cmピッチ、衿丈は2cmピッチで調整すること。
- (3) 男性ズボン 別表3-3のとおり。なお、股下は2cmピッチで調整すること。
- (4) 女性ズボン 別表3-4のとおり。なお、腰囲及び股下は2cmピッチで調整すること。
- (5) 男性夏帽 頭周り1cm刻みで、54cmから64cmの11種類とする。
- (6) 職員のサイズ表は契約後に当局より提示する。
- (7) いずれのサイズにも該当しない者にあつては別寸法とする。なお、別寸法者については、契約業者において個別に採寸を行うとともに、データの一覧表を作成の上、納期までに当局に提出すること。
また、その他の事項についても、誠意を持って対応すること。

第3 上衣仕様（長袖・半袖）

1 型式

5つボタンシャツ型、台襟付シャツカラー、パネルフロント、胸左右雨蓋付きアウトポケット、肩章付き。女性用は打合せを右上前とするほか、男性用と同様とする。

2 縫製

(1) 一般

- ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。
- イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。
- ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。
- エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。
 - 地縫い運針数 12針／3cm間
 - 飾りステッチ 12針／3cm間
- オ 飾りステッチ幅は、約0.6cmと端ミシンとする。
- カ 飾りステッチは、表ミシンとする。
- キ ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。
- ク 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。
- ケ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- コ 接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式しん張りプレス機を用いて全面接着をする。
- サ 布目は、パターン指定どおりにする。

(2) 襟

- ア 上襟剣の長さは7.5cmとし、幅は背中身で4.5cmとする。
- イ 台襟幅は、背中心で3.5cmとする。
- ウ 台襟にて上襟を挟み縫いし、身頃に縫い付ける。
- エ 台襟下部は2条縫いとし、下部の1条は裏を落とす。
- オ 台襟の内側と羽の裏側に配色をする。
- カ 上襟の周囲（下部を除く）には、飾りミシンをかける。
- キ 表襟はゆとりを持たせ、折り返りの厚みを引かれないようにする。
- ク 上襟には、作り芯を使用する。
- ケ 襟つりは、幅1.0cm、長さ約2.5cmの共布又は織りテープ（表地同系色）とし、襟中央に挟み縫いする。

(3) 肩縫い

- ア 前身と後身をインターロックミシンで地縫いする。
- イ 縫い代を後身側に倒して、0.6cmの飾りステッチで縫う。

(4) 肩章

- ア 中央に、指定の芯を入れ肩章の中央を合わせ、袖付けの際に挟み込み縫いつける。
- イ 長さは各サイズの肩幅ごとに合わせ襟の直下までとし、最大幅約5cm剣先型とする。肩峰点よりやや襟側の所で、身頃に地縫い止めし、肩付け部はクロスに空縫いする。
- ウ 襟側先端部にボタン穴を開け身頃にボタン留めとする。
- エ 表面に本体生地、裏面に配色生地を使用する。

(5) 袖付け

- ア インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- イ 縫い代は身頃側に片倒しとし、飾りステッチをかける。
- (6) 袖及びカフス
- ア 袖は1枚袖とし、袖縫いは身頃脇縫いと通し縫いする。
- イ インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがり（巻状で飾り縫いも可）とする。
- ウ 長袖の袖口の剣ボロは身頃を挟み、端は二つ折りにして端飾りを施す。
- エ 長袖の剣ボロは、上前巾2.5cm、丈14.0cm、下前巾0.8から1.1cm、丈11.5cm以上、開き11.0cmとし、開き止まりは幅0.5cmの2条縫いとする。
- オ 長袖の袖口は、カフス付け部は1~1.2cmと端ミシンの2条縫いをする。
- カ 長袖の外側に深さ約1.5cmのヒダを2本取り、袖開きの方へ倒し、剣ボロの端とヒダの間隔は3.0cmを目安とする。
- キ 長袖のカフスの仕上がり幅は、6.0cm（±0.3cm）とする。
- ク 長袖のカフス周囲（付け部は除く。）は、飾りステッチをかける。
- ケ 長袖はカフスの裏側に配色をする。
- コ 半袖の袖口は3.0cm幅の表折り返しのカフスとする。
- (7) 脇縫い
- 袖と通し縫いし、インターロック又は地縫い裁ち目オーバーロックかがりとする。
- (8) 胸ポケット
- ア 左右の胸の位置に、張り付けポケットを周囲コバステッチで縫着する。
- イ 口布は2.0cm以上とし、内側へ折り返し、端は二つにして押さえ縫いする。
- ウ 挿みヒダは内ヒダとし、幅は約2cmとする。又、ヒダの表側両端は飾り縫いとする。
- エ 口の両端はかんぬき止め（本縫いかんぬき4回以上又はミシンかんぬきコ型・三角）とし、上部中央に面ファスナーを付ける。
- オ 雨蓋は芯を入れて地縫い返しし、中央うら部にポケット口とは相方となる面ファスナーをつけ、周囲に飾りミシン（上部を除く。）をかけ、上部は、飾りステッチで縫い付ける。
- カ 雨蓋の表には、飾りボタンをつける。
- キ 雨蓋の裏側に配色をする。
- ク 上端は身頃に縫い付け、折り返して押さえミシンをかける。折り返し部分の端は、表に出ないようにする。
- ケ 左ポケット雨蓋の右端に、2.5cmのペン差しを付ける。
- コ 左ポケット内側に手帳留めループを縫いこむ。
- (9) 前立て
- ア 表前立式（女性用は右前裕）とし、芯を入れ（共地芯可）前端は地縫い返しし、奥は二つ折り、両端に飾りステッチをかける。

イ 幅は、約3.5cm上がりとする。

(10) 裾

三巻とし、馬のり付きとする。

(11) 面ファスナー

ア 右胸ポケット雨蓋から1.0cm上の位置に、階級章取付け用面ファスナー（メス面・表生地同色系）を縫い付ける。

イ 寸法は、階級章取付け用面ファスナー（メス面）を、縦約2.5cm、横約4.0cmとする。

(12) 左ポケット上部に名札取付け用の縦型ループ（幅1.5cm）をつけること。

(13) 氏名札片布を上前裾に付け、納品業者名を表示し、品質表示ラベルを縫い付ける。

(14) サイズ札を襟腰下部中央に付けること。

3 職員き章着用位置表示

左襟先端より襟角2等分線上5cmの位置に、職員き章着用位置を表示すること。なお、表示方法については、当局担当者と打合せのうえ決定すること。

第4 男性ズボン仕様

1 型式

ワンタック、裾シングル又はフリータイプ、伸縮式ウエストアジャスター・前ファスナー、後身左右尻片玉切込みポケット、ひざ裏付

2 縫製

(1) 一般

ア 縫い目数は、次の数値を標準とする。

地縫い 12針/3.0cm間

飾りステッチ 12針/3.0cm間

イ 飾りステッチ

表ミシンとし、幅は約0.6cmと端ミシンとする。

ウ ボタン付

機械付け又は手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し、根巻きは3回以上とする。

(2) 脇ポケット

ア 斜めポケットを左右脇に各1個つける。

イ 口布は、表地を中心で1.0cm以上折り返し、約0.7cmの飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い目から表地を中心で3.0cm以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。

ウ 口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりする。

エ 口の下端はかんぬき止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず1.0cm以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫う。

- オ 右ポケットの袋内部に、斜め口の小ポケットを縫い付ける。
- (3) 尻ポケット
- ア 片玉縁作りとし、左右に各1個つける。(玉縁作りミシン使用可)
- イ 向当布は幅2cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりし、袋地に縫い付ける。
- ウ ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。
- エ 上端は、表裏とも必ず1.0cm以上腰帯にかかるようにする。
- (4) タック
- 外向きタックを左右各1本取る。
- (5) 腰ダーツ
- 左右腰後部に各2本取り、片倒しをする。
- (6) 天狗及び前立て
- ア 天狗は芯を入れ、裏と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりする。
- イ 天狗の鼻は島で持ち出すか「ち」をつけ、先端にボタン穴をかける。
- ウ 前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりする。
- エ 前立て飾りは、幅3.5cmとする。
- オ 天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
- カ 小股かんぬき止めをする。
- キ 小股かんぬきの上に、天狗裏側から前立てとともにかんぬきを入れる。
- (7) ファスナー付け
- ア 天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
- イ 前立て側は、前立て裏にファスナーの上端を二つ折りし、2条縫いで縫い付ける。
- (8) 脇縫い及び内股縫い
- ア 地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
- イ 裁ち目は、オーバーロックかがりする。
- (9) 尻縫い
- ア 地縫い割りし、二重縫い又は環縫いミシンする。
- イ 上部の縫い代は2cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりする。
- ウ 棒シックは、股グりにそって、ミシン縫いで表まで打ち抜く。
- (10) 腰裏
- ア マーベルト、スレーキを使用し、前立側両端はそれぞれ天狗と前立ての前かんの下まで入れる。
- イ 後部(尻縫い目)は縫い割りする。
- ウ 左右脇縫い目の箇所、後ろ身側の腰裏下に前身側の腰裏が入るようにする。
- エ 腰裏の下端は、尻縫い代及び尻ポケットの箇所でまつり止めする。
- (11) 腰帯
- ア 腰は3.5cmの腰帯付とし、脇縫いの個所で、後ろ身側の腰帯下に前身側の腰帯

が入るようにし、ひざ裏を縫い付ける。

イ 腰帯内部に伸縮テープ又はアジャスターを入れ、前身側と後身側が互いに伸縮(左右2.5cm以上)出来るようにする。

(12) バンド通し

ア 8本付けとする。

イ ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし、幅約1.5cm、長さ約4.5cmとする。

ウ 取り付け位置は、ズボン上端より約1.0cm下りとし、上部は約0.5cm浮かして付ける。

エ バンド通し付けは表地から腰裏まで打ち抜き止めとする。

(13) 裾

ア 裾フリータイプ以外のものは、折り返し幅3.0cm以上とし、地縫いする。

イ 裁ち目は、オーバーロックかがりをするか、三ツ折返しする。

(14) 名札片布

ア 袋地に地縫いして取り付けること。

イ 氏名札片布には、納入業者名を記入すること。

第5 女性ズボン仕様

1 型式

腰帯付(脇ゴム仕様)、長ズボン、ワンタック、裾口シングル(ルイス仕上げ)、前身両脇ポケット、後身左右片玉縁ポケット、前ファスナー右上前仕立て

2 縫製

(1) 一般

ア 縫い目数は、次の数値を標準とする。

地縫い	1 1 針 / 3 cm間
オーバーロック	8 針 / 3 cm間
飾りステッチ	1 3 針 / 3 cm間

イ 裁縫

糸調子は上下ともツレ、タルミの無いようにし、返し針を完全にすること。

ウ ボタン付

機械付け又は手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3~4回通し、根巻きは3回以上とする。

(2) 前身

ワンタックとし、左右各1本(深さ2.0cm)を外向きに付けること。

(3) 腰帯

ア 前端は18^ミ長のハトメ穴カガリと、四つ穴15^ミ径の釦を1個取り付ける。

イ 裏に2.0cm幅のスベリ止めマーベルトを付けること。

ウ 腰帯の両脇部分に平ゴムを内蔵する脇ゴム形式とする。

(4) バンド通し

ア 上端より下にダーツ幅1cm、長さ4.0cm長のループを6本取り付ける。

イ 帯幅3.0cm仕上がりとし、裏に2cm幅のスベリ止めマーベルトを付けること。

(5) 脇ポケット

ア ポケット口は表一条飾りミシン縫いとする。

イ ポケット口は共布で身返し付、口幅1.5cm、深さ下門より1.3cm、袋幅1.5cmとし、向当布を内外につけ、両口端に門止めを施すこと。

(6) 尻ポケット

ア 上端より5cm下に左右口幅1.3cm、深さ1.7cmの片玉縁ポケットを付ける。

イ ポケット口は芯を貼り、左後中央に1.8^ミ長のハトメ穴かがりと四つ穴1.5^ミ径の釦を1個取り付ける。

ウ ポケット口回りは表一条飾りミシン縫いとし、ポケット両口端はそれぞれ門止めを施す。

(7) 相引・内股

脇縫い、内股及び尻ぐりは割り縫いをし、内股、尻ぐりはミシン2回縫いをする。特に糸切れを防ぐため伸ばして地縫いすること。

(8) 棒シック

袋地を使用し、尻縫い目に長さ1.0cm、幅2cmのものを付ける。

(9) 裾口はルイス仕上げとする。

(10) 氏名札片布を左前脇ポケット裏に付け、納入業者名を記入すること。

(11) サイズ札を左前帯下に取り付けること。

(12) 穴カガりは機械穴、ハトメ穴とする。

第6 男性夏帽仕様

1 形状

士官型、前章金モール、顎ひも付き

2 縫製

(1) 一般

ア 各部の縫製は、縫い目の飛び、縫いはずれがない優良なものとする。

イ 縫い代は、各部分に適した十分なものとする。

ウ 糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。

エ 縫い目数は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数	10針以上／3cm間
飾りステッチ	10針以上／3cm間
ひさし付け	7針以上／3cm間

- オ 飾りステッチは端ミシン、表ミシンとする。
- カ 各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。
- キ アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。
- ク 布目は、パターン指定どおりにする。
- (2) マチ縫い
- ア マチは、前面2枚及び後面2枚を縫い合わせる。
- イ 縫い目の両側は飾りミシン縫いをする。
- (3) 通気穴
- マチの両側に左右各2箇所に鳩目穴を打ち指定の鳩目を取り付ける。
- (4) 前立
- 指定の前立バネをかぶせる。
- (5) 天井
- 指定の天井裏をパッキンよりつるす。
- (6) 腰布
- 腰布の下部に玉縁を作り、両端を縫い合わせて輪状にする。
- (7) 天井とマチ縫い
- ア 天井とマチを縫い合わせる。
- イ 縫い目の両端は飾りミシン縫いとする。
- (8) マチと腰布付け
- ア マチの下部と腰の上部を縫い合わせる。
- イ 腰布の縫い目は後方とする。
- (9) 腰枠取り付け
- ア 腰枠を輪状にし、ホチキス止める。
- イ 前立バネを取り付ける。
- (10) 庇付け及び滑付
- ア 腰枠を腰布内部に入れて、腰布下部を内側に折り返しミシン付けをする。
- イ 前面の中央にはひさしを付け、内側に滑りを縫い付ける。
- ウ すべりの後部は重ねて鳩目で止める。
- (11) 名札片布
- ア 天井裏の透明ビニールのポケットに入れること。
- イ 氏名札片布には、納入業者名を記入すること。

第7 数量、納期、納入場所

1 数量

- | | |
|------------------|-----|
| (1) 男性消防吏員夏服上衣長袖 | 16着 |
| (2) 男性消防吏員夏服上衣半袖 | 57着 |
| (3) 男性消防吏員夏服ズボン | 29本 |

- | | |
|------------------|----|
| (4) 男性消防吏員夏帽 | 9着 |
| (5) 女性消防吏員夏服上衣長袖 | 4着 |
| (6) 女性消防吏員夏服上衣半袖 | 6着 |
| (7) 女性消防吏員夏服ズボン | 9本 |

2 納期

令和6年10月29日(火)

※ 納品2日前までに納品日及び時間を連絡すること。

3 納入場所

さいたま市浦和区常盤6-1-28

消防局総務部消防企画課 外

別表1-1 (表生地① 物性規格)

材料	区分	規格	試験方法	
表生地 (上衣)	色相	シャンブレーブルー 当局の指定する色相		
	組織	1/1 平織り	JIS L 1096	
	混紡率	ウール 32%(±3) 再生ポリエステル 67.5%(±3) 制電性繊維 0.5% グリーン購入法対応	JIS L 1030	
	糸番手	経	2/72	JIS L 1096
		緯	167dtex	JIS L 1096
	密度	経	74 本標準 (2.54 cm間)	JIS L 1096
		緯	64 本標準 (2.54 cm間)	JIS L 1096
	重量	130 g/m ² 標準	JIS L 1096	
	強力	ㄲ 600N以上ヨ 550N以上	JIS L 1096	
	寸法変化率	ㄲ, ヨとも±1%以内		
	ピリング	4級以上	JIS L 1042C法	
	染色堅牢度	耐光	JIS L 1076A法	
	染色堅牢度	洗濯	4級以上	JIS L 0842
		汗	4級以上	JIS L 0844
		摩擦	(酸)4級以上 (アルカリ)4級以上	JIS L 0848
	摩擦帯電電荷量	7 μ c / m ² 以下	4級以上	JIS L 0849II型法
染色方法	先染め	JIS L 1096C法		
その他加工	抗菌防臭加工			

別表1-2 (表生地② 物性規格)

材料	区分	規格	試験方法	
表生地 (上衣配色地・ズボン・スカート・夏帽)	色相	濃紺 当局の指定する色相		
	混紡率	麻 (長繊維糸) 15% ポリエステル (再生ポリエステル) 85%	JIS L 1030	
	糸番手	経	36/1s 167dtex/2	JIS L 1096
		緯	36/1s 167dtex/2	JIS L 1096
	密度	経	5.8本以上 (2.54cm間)	JIS L 1096
		緯	4.8本以上 (2.54cm間)	JIS L 1096
	重量	165g/m ² 以上	JIS L 1096	
	引張強度 縦	780N以上	JIS L 1096A法	
	引張強度 横	680N以上	JIS L 1096A法	
	寸法変化率	経±1.5%以内 緯±1.5%以内	JIS L 1042D法	
	ピリング	4級以上	JIS L 1076A法	
	染色堅牢度	耐光	4級以上	JIS L 8042
		洗濯	(変)4級以上 (汚)4級以上	JIS L 8044A-2法
		汗	4級以上	JIS L 0848A法
		摩擦	(乾)4級以上	JIS L 0849II型法
	試験幅	5cm		
	引張速度	20cm/min		
	つかみ間隔	20cm		
	試験機	定速伸長形		
	静電防止加工	導電性繊維を生地の経方向に織り込むこと		
帯電電荷量	7μc未満	JIS L 1096C法		
平面磨耗	1500回以上	JIS L 1096A-1法		
染色方法	先染め			

別表2 (付属品等)

材料	区分	規格	使用箇所	
袋地	組織	綾織り	上衣、ズボン、スカート	
	色相	灰色		
	混紡率	ポリエステル50%以上 レーヨン混紡		
	密度	経 250本以上 緯 200本以上		
芯地	ベース	組織	平織り	襟
		混紡率	ポリエステル65% 綿35%	
		番手	(経×緯) 23/2×23/2	
		密度	経48本以上 緯44本以上 (2.5cm間標準値)	
	補強	組織	平織り	
		混紡率	ポリエステル65% 綿35%	
		番手	(経×緯) 23/1×23/1	
		密度	経60本以上 緯55本以上 (2.5cm間標準値)	
キーパー	セルロイド製			
芯地	組織	平織り又は不織布	カス・雨蓋・前立・肩章・持ち出し・後ポケット口・前脇ポケット口見返し	
	種類	ポリエステル混紡		
ボタン	材質	尿素樹脂	13mm (シルバー) 上衣：前ボタン・肩章・胸ポケット・袖口 15mm (灰色) ズボン：尻ポケット・天狗裏	
	経 mm	13mm 及び 15mm		
ファスナー		YKK製ファスナー	ズボン前立、スカート左脇	
糸	地縫い 飾り縫い糸 穴かがり糸	ポリエステル糸		
面ファスナー	種類	ナイロン製 表地と同系色		
裏地	組織	平織り	ズボン、スカート	
	材質	ポリエステル混紡		
	色相	紺又は黒		
袋地	組織	平織り又は綾織り	ズボン、スカート	
	材質	ポリエステル混紡		
尾錠	素材	真鍮製	ズボン	

	色相	シルバー又はガンメタ	
ホック	素材	金属製	スカート
	色相	シルバー又はガンメタ	
腰枠	素材	発砲ポリエチレン板	男性夏帽
	厚さ	1mm以上	
	幅	50～52mm	
ひさし表	素材	合皮にビニールのコーティングをしたもの	男性夏帽
	色相	黒色・艶入り	
ひさし縁	素材	ビニールシートとし、2本縁縫い	男性夏帽
	色相	黒色・艶入り	
顎ひも	素材と作り	床革ビニール引きとし、織りたたみ	男性夏帽
	幅	12mm	
	色相	黒色・艶入り	
すべり	素材	デラクール	男性夏帽、女性夏帽
	色相	黒色	
帯章	織	綾竹	男性夏帽、女性夏帽
	色相	黒色	
リボン	織	縞織	女性夏帽
	色相	黒色	
前章	素材	金モール・金属消防章	男性夏帽、女性夏帽
	型	準則の通り	
	台座	黒色・ラシャ	
耳章	素材	黄銅製	男性夏帽
	型	消防章	
	寸法	五分	
	色相	金色	
張り出し	素材	発砲ポリエチレン	男性夏帽
	型	半月型	
前立ばね	素材	鋼板及びビニール	男性夏帽
	型	半月型	
天井裏	素材	ビニール	男性夏帽
	型	透明ポケット付	
鳩目	素材	黄銅製	男性夏帽
	サイズ	200番	
	色相	後部黒 マチ部グレー	
櫛	素材	金属製	女性夏帽

	色相	黒色	
糸	地縫い 飾り縫い糸	ポリエステル糸及び綿糸	男性夏帽

別表3-1 (男性上衣サイズ)

出来上がり寸法

単位 cm

サイズ表示		長袖丈	衿丈	半袖丈	首廻	胸囲	肩幅	着丈
長袖	半袖							
M袖2	M	53	75	25	37	102	44	80
M袖3		56	78					
M袖4		59	81					
M袖5		62	84					
M袖6		65	87					
L袖2	L	52	75	25	39	107	46	80
L袖3		55	78					
L袖4		58	81					
L袖5		61	84					
L袖6		64	87					
LL袖2	LL	51	75	26	41	113	48	83
LL袖3		54	78					
LL袖4		57	81					
LL袖5		60	84					
LL袖6		63	87					
3L袖2	3L	50	75	26	43	120	50	83
3L袖3		53	78					
3L袖4		56	81					
3L袖5		59	84					
3L袖6		62	87					
VL袖4	VL	55	81	26	44	128	52	85
VL袖5		58	84					
VL袖6		61	87					
許容差		+1.0 -0.5	+1.5 -1.0	+1.0 -0.5	+1.5 -0.5	±0.5	+2.0 -1.0	+1.0 -0.5

別表3-2 (女性上衣サイズ)

出来上がり寸法

単位 cm

サイズ表示	34-74	35-74	36-74	37-74	38-74	39-74	40-74	41-74
首廻り	34	35	36	37	38	39	40	41
衿丈	74							

許容差 衿丈±1cm 首廻り+1.5cm/-0.5cm

半袖は首廻りのみのサイズ表記とする。

別表3-3 (男性ズボンサイズ)

仕上がり寸法				単位 cm
サイズ表示	腰囲	股上	裾口	股下
1号	70	26	23	74cm 上がり を基準に偶数 単位で股下の 調整をする。
2号	73	26	23	
3号	76	27	23	
4号	79	27	24	
5号	82	28	24	
6号	85	28	24	
7号	88	28	24	
8号	91	28	25	
9号	95	29	25	
10号	100	30	25	
11号	105	30	25	
12号	110	32	26	
許容差	±1.0	±1.0	±0.5	±1.0

別表3-4 (女性ズボンサイズ)

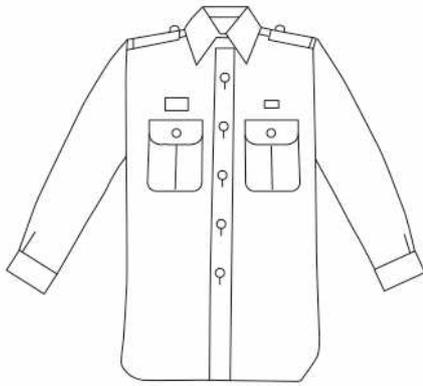
仕上がり寸法								単位 : cm
	5号	7号	9号	11号	13号	15号	17号	
腰囲	58	61	64	67	70	73	76	
尻囲	92	95	98	101	104	107	110	
ズボン丈	94	96	96	96	97.5	97.5	97.5	
股下	68cmを基準に偶数単位で調整をする							

許容差 腰囲±1cm 丈±1cm

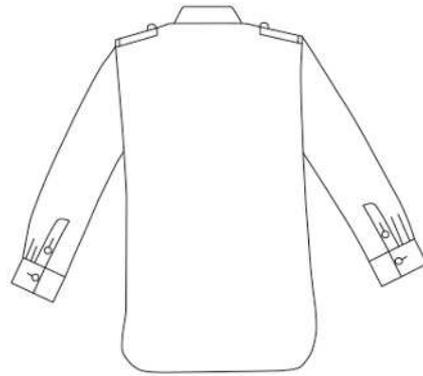
【概要図】

- 男性消防吏員夏服上衣長袖

前面



後面

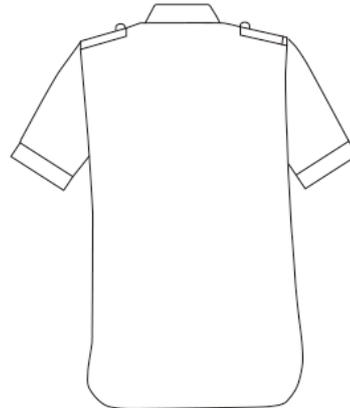


- 男性消防吏員夏服上衣半袖

前面

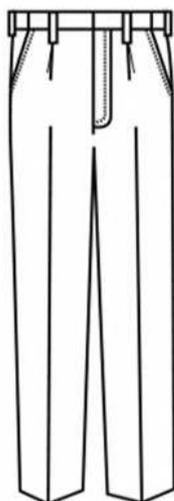


後面

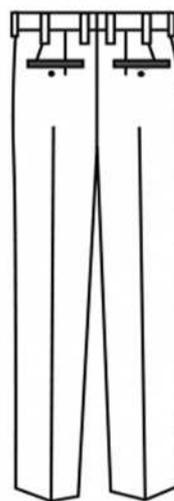


- 男性消防吏員夏服ズボン

前面

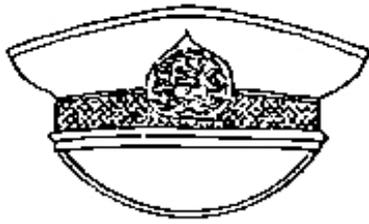


後面

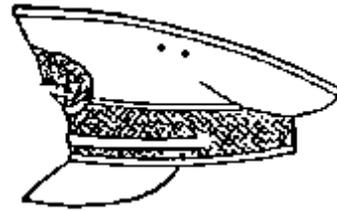


○ 男性消防吏員夏帽

正面

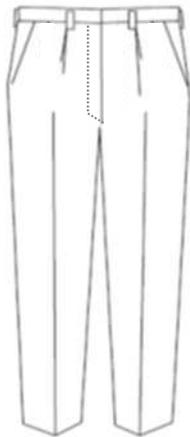


側面



○ 女性消防吏員用夏服ズボン

前面



後面

